

慰安婦像で

韓国〴〵発狂〴〵状態

名村隆寛
産経新聞ソウル支局長



「釜山市民の勝利だ！」

韓国・釜山の日本総領事館前に慰安婦像を設置した国際条約違反に対する日本政府の対抗措置に、韓国側が「極めて異例の強硬措置」（韓国紙）と過敏な反応を見せた。衝撃、反発、動揺、不安が入り交じっており、実に韓国らしい反応だった。

問題の慰安婦像は、日韓両政府が慰安婦問題の「最終的かつ不可逆的

な解決」を確認した合意から一年となつた昨年十二月二十八日、地元の市民団体や学生が日本総領事館前の路上に設置した。しかし、地元自治体の釜山市東区が設置を許可せず、約四時間後には撤去された。

ところが、二日後の三十日午後、像は再び設置された。東区が急遽、許可したためだ。撤去後、区には多くの市民から抗議の電話やメールが殺到し、区のホームページは接続

不能となっていた。結局、区側が世論の猛烈な抗議に折れたわけだ。

市民団体は慰安婦像と、製作に寄付した人々の名が記された金属板を、あつという間にセメントで完全に固めてしまった。その後、現場で満足そうに記者会見し、「釜山市民の勝利だ！」「日本の心からの謝罪と賠償を最後まで要求するぞ！」などと叫んでいた。

慰安婦像の設置場所は、釜山駅前



の大通り(釜山のメインストリート)を北上した、地下鉄「草梁駅」の真上にある。ソウルの日本大使館前に

日韓合意も国際条約もおかまいなし

(写真提供/共同通信社)

設置された慰安婦像は、比較的狭い路上にあり、しかも大使館とは道路を隔(へだ)てている。日本への抗議集会で現場が混雑しても、一般市民や車は裏道を使って迂回(うかい)できる。

だが、釜山の場合は、総領事館の目の前の歩道で、かつ地下鉄駅の上だ。歩道がふさがった場合の迂回路はかなり大回りとなり、坂道を上らねばならない。

除幕式はすし詰め状態

慰安婦像設置の際、現場には市民団体や日韓の報道関係者数十人がいた。歩道をバイクで配達中の男性(韓国ではバイクも平然と歩道を走行する)が「しょうがないなあ」といった表情で、バイクを押して人の間を抜けていったのが印象的だった。

翌日(おとそ)の夜には、像の除幕式が盛大に行われた。当然、歩道はすし詰め状態で、並行する大通りは半分以上の車線を群衆が占拠。ソウルの日本大使館前で毎週水曜日に行われている恒例の抗議集会「水曜デモ」を主催している元慰安婦の支援団体「韓国挺身隊問題対策協議会」(挺身協)の尹美香代表も参加して、釜山での市民の勝利」を讃えていた。

大騒ぎの取材に付き合わされたこちらは、釜山で年を越すことになった。押し合い、へし合いの慰安婦像の近くでカメラを構えていると、後ろから「おじさん、見えないよ」「座つて」と市民が急(せ)かす。

「取材なんですよ。勘弁して」と釜山訛りで答えたためか、どうにか除幕の瞬間の写真は撮れたが、「記者だからって何だ」という男の声が聞こえ

た。そして、彼はたどたどしい日本語でこう言った。

「アヤマレ」

実に気分よろしくない隣国での年越しであった。

翌日、前夜の喧嘩とは正反対の正月晴れの釜山をあとにした。日韓の新年は韓国側の裏切りで明けた。慰安婦像設置についてのメディアの報道は、韓国よりも日本が大きく扱っていたようだ。

二〇一五年十二月の日韓合意で、韓国政府が「適切に解決されるよう努力する」と約束したソウルの日本大使館前に違法設置された慰安婦像は、一年経っても撤去されていない。それどころか、新たに釜山にも設置されたことで、在韩国日本公館前の慰安婦像は二つとなった。いずれも日本公館前に「抗議」して置かれ

たものだが、「外国公館の安寧と尊敬を守るよう」に定めたウィーン条約に明らかに違反している。

韓国国内の「情緒」や反日世論に押され、韓国政府や地元自治体はやはり、またしても国際法を無視した。

日本は四つの対抗措置

一月六日、日本政府は韓国政府に抗議し、当然の措置をとる。

▽長嶺安政駐韓大使と森本康敬釜山総領事の一時帰国。

▽日韓通貨交換（スワップ）協定再開の協議中断。

▽日韓ハイレベル経済協議の延期。

▽在釜山総領事館職員による釜山市関連行事への参加見合わせ。

四つの対抗措置だ。

韓国外務省は即日、「非常に遺憾」

とする報道官論評を発表し、尹炳世ユンビョンセ外相が長嶺大使を呼び、遺憾の意を伝える。しかし本国からの指示どおり、長嶺、森本両氏は帰国。日本政府としては珍しく、素早い対抗措置が実行された。

釜山の像を設置したのは、「未来の世代が建てる平和の少女像推進委員会」という団体。釜山大学の学生自治会と地元の市民団体を中心に発足し、現在は約七十の市民団体や大学生らが参加している。

「韓日合意は日本の慰安婦強制連行を認めない屈辱的な交渉だ」とし、昨年一月、「日本総領事館前に、光復節（八月十五日、日本の朝鮮半島統治からの解放記念日）に合わせて、平和の少女像（慰安婦像）を建立こんりゅうする」と表明していた。

像設置に向け、全市民的な募金活

動を展開していたが、当初の予定までに金が集まらず、像の設置は昨年十二月末となった。百九十六団体、五千百四十三人から像の設置費を集めたという。

推進委について韓国では、左派系団体やネットユーザーが、その「地道な活動」を称賛し、バックアップしている。

一方で、今回の騒動に対し、地元やネット上では「やり過ぎだ」「もうやめてはどうか」といった意見もある。しかし、こうした戒めは堂々と公言できないのが、相変わらずの韓国の現実だ。

像の設置後、推進委は「市民の力で建てた像」を「公共造形物」として登録するよう求めており、釜山市東区（パッサムダング）の朴三碩（パクサム）区長は結局、「永久的に保存・管理する手だてが必要だ」と言わざるを得なかった。一月中に推

進委は解散するが、慰安婦像設置の活動をまとめた白書を発刊する計画だ。

ちなみに、慰安婦少女像は韓国全土ですでに四十体〜六十体も建てられているという。

エスカレートする日本批判

この数日間の韓国側の反応を一言で表せば、「まさか」といった驚きだろうか。韓国の政府もメディアも、「まさか日本がそこまでやるとは」と衝撃を受けていたようだ。

「日本に対してなら何でもやっていい」「抗議はあるが、日本は何もしていない」といった韓国が常に抱いている韓国なりの日本のイメージ、妙な自信と思ひ込みが背景にあり、それが裏切られたための動揺だと察せられる。

筆者自身は「この程度では手ぬる

い」と感じており、韓国側の対応次第では当然、追加的な対抗措置があってもいいと考えている。この日本の

対抗措置を、日常的に日本にはうるさい韓国メディアがどのような形容したか。外部の専門家の寄稿やコメントも含め、主要メディアは以下のように評した。

「ハンギョレ新聞」

「不適切を超え、盗人ぬすつと猛々たげだけしい(居直り)に近い。理解しがたい」

「(日韓の)合意は根本的に誤っている。日本は報復措置を即刻止めるのが当然」

「加害者である日本側が、被害者である韓国を脅す本末転倒な現実」

「今回の措置は、日本にとって「諸刃もろはの剣つるぎ」になる以外にない。韓国世論を刺激し、両国関係が「破局」に向かいかねない」

「中央日報」

「即刻、大使召還という超強硬手段をとったことで、日本政府は両国間の葛藤を煽った」

「安倍首相の傲慢ごうまんさと間違った歴史認識が、今回の事態をきっかけに日本国民の間に急速に広まっている」

「東亜日報」

「日本が少女像（慰安婦像）挑発で刺激」

言いたい放題である。日本政府は日韓合意に基づき、十億円を韓国側に拠出した。その十億円は韓国政府が設立した「和解・癒やし財団」から元慰安婦の女性や遺族らに支給されており、すでに約七四％の元慰安婦や遺族らが受け取り済み、もしくは受け入れの意思を示している。日本は韓国側と約束したことを着実に実行してきた。後戻りなどできない。

しかし、対抗措置に続き、安倍晋

三首相が八日のNHKの番組で、釜山の日本総領事館前とソウルの日本大使館前の慰安婦像について、「韓国側にしっかりと誠意を示してもらわないといけない」と撤去を求める意向を示したあと、韓国での反発はよりエスカレートした。

韓国の弱みにつけ込む？

なかでも、「聯合ニュース」が伝えた論説は、さらに感情的で凄まじい。

「無礼かつ身勝手な圧力」

「外交の慣行に照らしても、礼儀も格式もない振る舞いに驚かされる」

「日本のような経済大国の首相が十億円程度の資金拠出に触れ、自分たちが果たすべきことはしたという趣旨で発言するのは見るも哀れだ」

「一国の政府のトップとして礼儀と品格を忘れ、名分も失った」

「一言も相談なく、新年早々こうした行動に出るのは分を弁わきまえていない」としか言わざるを得ない」

「韓国政府が合意した以上は責任を取れ、というような態度は反民主的でもある」

「このように高圧的で傲慢な態度で臨むなら、国の品格の失墜を招き、ほかの関係国の警戒心を刺激しかねない」

「一枚の合意文といくらかの金で、慰安婦問題を永久に払拭払拭できたと思うなら大きな勘違い、誤算だ」

すべて、そのまま韓国側にお返ししたい言葉だ。

日本が絡かむと、韓国ではこうした感情論は日常的で珍しくない。韓国らしい象徴的なイチヤモンを、メディアが先頭に立って披露している。それよりも困ったことに、対抗措置

を取った日本に対する曲解や一方的で勝手な解釈が、またも横行している。

ご存知のように、韓国では現在、朴槿恵大統領が親友で女性実業家の崔順実被告の国政介入事件をめぐって弾劾訴追され、職務停止の状態だ。黄教安首相が大統領の職務を代行しているものの、国政は停滞が続いている。

米国のトランプ新政権との接触をどうにか模索する一方で、中国との関係が悪化している。北朝鮮のミサイルに対処する米軍の最新鋭迎撃システム「高高度防衛ミサイル」(THAAD)の今夏の配備に、中国が猛反発を続けているためだ。

首を傾げてしまうおなじみの韓国の曲解は、この内外で行き詰まった状況にある韓国の「弱み」に「日本がまんまとつけ込んできた」というもの

で、全く困った解釈だ。

「韓国の国政が事実上、マヒし、政界が四分五裂していることを積極的

に利用する狙い」「韓国の国政空白や米政権の交代期を狙った日本の奇襲攻撃」(朝鮮日報)

何も日本は、韓国の弱みにつけ込んでい

安倍総理が少女像を利用？

日本の措置への困った解釈はほかにもある。「安倍首相が国内政治のために少女像(慰安婦像)報復措置を積極的に利用している」というものだ。韓国メディアには昨年末、「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定がトランプ政権の発足で白紙とな

る。ロシアとの領土返還交渉も壁に突き当たった」などと、安倍首相が困っているだろうとの希望的な観測報道が目立った。

「慰安婦合意に不満を抱く日本国内の右翼を宥める側面も」「安倍首相が進めてきた外交政策は次々と難関に直面しており、韓国を相手に強い態度を見せることが、批判的な世論を和らげるのに都合がいい」(朝鮮日報)といった、日本国内世論を意識した安倍首相の判断という受け止め方だ。

しかし安倍首相の支持率は、各種世論調査で現在も余裕で五〇%を超えている。六〇%を超えたとの調査結果もある。政権末期で支持率が歴代最低の四〇%まで落ち込んだどこかの国の大統領とは違う。

第一、日本の国民と世論はそれほどバカじゃないし、安倍首相もそん

なことは十分に承知のはずだ。

安倍首相、日本政府、そして日本国民の多くが言いたいのはただ一つ。日本の大使館前と総領事館前に、国際条約や韓国の法令、条例を無視して設置した慰安婦像を合意の精神に従い速やかに撤去してくれ、ということだ。

「日韓合意白紙論」が横行

朴槿恵大統領の職務が停止となり、韓国政府が窮地に陥るなか、野党勢力は日本の対抗措置を猛非難するとともに、これを政権攻撃の格好の材料として使っている。

最大野党で国会第一党でもある「共に民主党」の禹相虎院内代表は一月九日、党の幹部会議で、日韓合意に従い、日本政府が韓国の財団に拠出した十億円について、「予備費でも編

成するので、十億円を返そう」とまで言い放った。

禹氏は十億円を「韓国国民が屈辱的と感じる金だ」とも吐き捨て、さらに、安倍首相の側近議員が「振り込め詐欺のようだ」と韓国に不満を示したとの日本での報道にも触れ、「韓国外相は抗議さえ一つもできない。こんな外交がどこにあるのか」と批判した。

「共に民主党」は、日韓合意の直後から合意の白紙化と無効を主張している。次期大統領選挙に出馬の意志を表明している文在寅前党代表は、日本が対抗措置をとる前から「合意見直し」と「新たな交渉」を主張している。昨年十二月には、なんと日本をはじめ海外メディアを前にした「ソウル外信記者クラブ」の記者会見で、そう断言した。最近は行く先々で、

日韓合意の「白紙化」を説き回っているそうだ。

また同党では、李在明城南市長も大統領選への出馬の意志を示している。李氏は日本を「敵性国家」と見做していることを日本メディアが大勢いる記者会見場で断言するような人物で、日韓合意についても「破棄」「無効化」を言い続けている。

次期大統領候補らのこうした言動も耳にし、安倍首相は韓国側に合意履行を訴え、そして側近議員も「振り込め詐欺発言」をしたものとみられる。

「屈辱的な十億円を日本に返してしまえ」「日本との合意など絶対に認めない。捨ててしまえ」といったこうした暴論の横行に、韓国政府は危機感を抱いているようだ。

黄教安首相は閣議で、慰安婦問題

に関して「状況悪化を招きかねない言動は、自制することが韓日関係の未来志向的な発展のために望ましい」と述べた。黄氏は「各界で（日韓）両国関係を憂慮する声が出ている」と指摘し、「両政府だけでなく、全当事者が合意の趣旨と精神を尊重し、韓日関係発展に努力を続けることが必要だ」と語った。

黄氏の慰安婦問題への言及は、日本政府が対抗措置を取って以降、初めてのことだった。黄氏のこの発言については、「両政府だけでなく、全当事者が」との表現があることから、

「日韓双方に自制を求めた」とする報道が日本では出ており、韓国側では「日本に対して言った」と解釈した報道もある。

ただ、あくまでも韓国国内での韓国政府の閣議での発言だ。知人の韓国人に尋ねてみても、「韓国国内向けの発言のニュアンスが強い」と言っていた。黄氏の発言は韓国での対日批判を念頭に、日韓関係のさらなる悪化を懸念したもので、十億円の返還を叫ぶ野党や、文在寅氏の合意破棄の発言を明らかに戒めたものだ。さらには、像を設置した市民団体などに

合意を認めるよう、暗に促うながしてもいい。

ただ、ここに来て、信じられないことが分かった。韓国大統領選への出馬を事実上、表明している潘基文パンギマン前国連事務総長までもが、日本政府が拠出した十億円について「金を返すべきだ」と語ったというのだ。

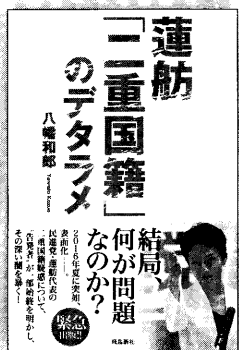
韓国の常識派は危機感を

潘氏の問題発言は、韓国紙、中央日報や朝鮮日報が十二日に米国から帰国した潘氏の機内インタビューとして報じたものだ。潘氏は、「日本が

好評発売中!

蓮舫「二重国籍」のデタラメ

ISBN978-4-86410-634-7
1111円(税別)
四六判変型・並製240頁



飛鳥新社

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-3
光文恒産ビル2F
TEL 03-3263-7770 / FAX 03-3239-7759

あれこれ言っているが、十億円が像撤去に関連するのなら間違いだ。ならば金を返さねばならないということだ」と述べたという。十億円が、ソウルの日本大使館や釜山の日本総領事館の前に設置された慰安婦像の「撤去の条件ならば」という条件付きの見解である。

帰国後の大統領選出馬に向けた「国内向け」の発言であったのかもしれない。ただ、潘氏は外交官出身である。盧武鉉政権（二〇〇三〜〇八年）では外相を務め、昨年までの十年間は国連事務総長の座にいた人物だ。

当然、潘氏は外交・国際問題に精通しているはずだ。韓国国内の二カ所の日本公館前に日本への「抗議」として慰安婦像が置かれていることが、ウィーン条約に違反していること

とを知らないわけではない。韓国国民が設置した慰安婦像により、外国公館の安寧と尊厳が損なわれていることに気付いていないはずはない。

国内向けの発言であろうが、潘氏の発言は日本に対して誤解を与える。同時に、韓国国民に対しても変な安心感を与えてしまった。「わが国が輩出した歴史的な国連事務総長様も日本の非を認めた」といったところだろう。潘氏は、日本大使館と日本総領事館の前への慰安婦像の設置を、韓国国民の前に認めてしまったのだ。この発言の意味は重く、日韓関係の今後に影を落としかねない。

親韓派議員ですら批判を

一方、対日関係悪化をものともしないような韓国国内のこうした現状に、韓国政府も相当な危機感を抱い

ている。

尹炳世外相は潘氏が帰国した翌十三日の国会外交統一委員会で、釜山での慰安婦像設置に日本で反発が起きていることに言及し、「国際社会では、外交公館前に施設や造形物を設置することは望ましくないというのが一般的だ。韓国の海外公館のそばに造形物などが設置されれば、我々も同様に困ったことになる」と説明した。

さらに尹氏は、「誤解があるので、韓国政府は像設置に反対しているのではない。設置場所について、我々が知恵を集める必要がある」と問題解決に向けた韓国側の努力を訴え、韓国国内の理解を求めた。

尹氏は、外交官として潘氏の後輩に当たる。朴槿恵政権の発足当初から外相を務め、あれほど日本にはう

るさかった尹氏だが、やはり韓国の国際条約違反を自覚しているのだ。

「常識派」は、韓国が置かれた現状を認識しており、問題をこじらせて日本との関係をこれ以上に悪化させることが韓国にとって得策ではないことを十分に分かっている。

日本政界の「親韓派」と見做されている政治家までもが韓国を批判し、背を向け始めた現実も懸念されている。訪韓歴が多い自民党の二階俊博幹事長や古賀誠元幹事長ですら、韓国政府の対応を批判している。

両氏は二〇〇二年の日韓共催サッカーワールドカップの前後、何度か韓国を訪問した。当時、二人が記者会見した際、「韓国が好きなんだなあ」と思った記憶がある。

二階氏は、日韓合意前のまだ両国関係が冷え込んでいた二〇一五年二月に、約一千四百人を日本から引率

して訪韓した。当時、日韓関係の悪化で日本人観光客の激減に悩んでいた朴槿惠大統領から、二階氏は「非常に感謝された」そうだ。

その二階氏が日本のテレビで「韓国は面倒な国だ」と語り、釜山の慰安婦像設置を「あり得ないことではないか」と批判した。また、古賀氏も同じ番組で日本政府の対抗措置を評価したうえで、「最終的に日韓の首脳が合意した。これは守るべきだ。言うべきこと、やるべきことはきちんとやるべきだ」と断言した。

さらに、韓国がこれまで「良心的日本メディア」と見做してきた朝日新聞などまでが、釜山の慰安婦像設置を批判していることも、韓国は気にしている。韓国自らが「よき理解者」を遠ざけさせていることに、分かっている者は気付き、「まずいことになっている」と感じているのだ。

国民感情に便乗し、解決策も示さずに、ひたすら日韓合意破棄を叫ぶ野党など政界への批判も出始めている。

にもかかわらず、韓国国内では「合意破棄」の声が強いし、目立つ。同時に、合意遵守じゅんしゅや慰安婦像の撤去を堂々と言える雰囲気にはない。日本が絡んだ国民情緒には、真つ向から異議を唱えることは難しい。たつた二体の慰安婦像を撤去すれば済む問題なのに。しかし、これが相変わらずの韓国の現実なのだ。

自分たちで自分たち(韓国)の首を絞めてもがき、困つたら相手(日本)のせいにする。ここ数年、韓国が見せてきた韓国の姿だ。そのツケがいまになって出てきており、韓国自身がそれを自覚し始めている。

最も韓国のツケの大きさを分かっているのは韓国政府、なかでも外務

省だろ。慰安婦像に関する「国際常識」と「設置場所」に触れた尹炳世外相の勇氣ある発言(?)が、遅きに失した感はあるが、それを物語っている。

韓国政府は問題を丸投げ

韓国政府は朴槿惠大統領以下、外務省報道官らが、日本大使館前の慰安婦像設置について、日韓合意のあとも「民間が設置したものであり、あれこれ言えない」と撤去や移設について言及を避け、逃げ続けてきた。しかも、ウィーン条約違反なのに。今回の釜山の慰安婦像についても、韓国外務省は「該当自治体が決めること」として、釜山市東区に問題を丸投げしていた。

前述のように、慰安婦像をいったんは撤去した東区は、市民や国民か

らの猛烈な抗議という国民情緒に圧迫され、撤去のわずか二日後に像の設置を許可した。許可した東区の朴三碩区長は記者会見で、「多くの市民に謝罪する。自治体が対応するのは難しい」と、一日像を撤去したことを謝りさえした。

東区に丸投げした韓国外務省はその日になって、「適切な場所について、知恵を集められるよう期待する」と市民団体に移設を促す考えを示唆したが、あとの祭り。像はコンクリートでしっかりと固定されてしまった。

もう「甘え」は通用しない

韓国外務省報道官は日本の対抗措置が発表されたあとの一月十日、定例会見で「政府や該当自治体、市民団体などが外交公館の保護に関する国際儀礼や慣行を考慮し、適切な場

所について知恵を集められるよう期待する」と述べた。尹外相のその後の発言と同じ主旨だ。

朴区長は韓国メディアに対し、「自治体の判断に任せていた外務省が像移転を求めるのは理解できない。移転するなら外務省がやるべきだ」と韓国政府の姿勢に不満を示した。

韓国政府の日本への対応を「弱腰だ」とする批判は依然として多く、尹外相が言うような、像移転に向けて知恵を出し合えるような状況ではない。ただ、韓国は合意の不履行で自ら外交問題化を招いた。日本が合意を守る以上、慰安婦像は韓国が解決すべき国内問題だ。

日本は「韓国が大統領の弾劾訴追」という局面にあり、危機状況に直面していることにつけ込み、合意履行を迫った(「聯合ニュース」)わけでは

ない。この期に及んで、そんな言い
がかりを言われる覚えはない。日本
は韓国政府との合意をしっかりと守
っている。

日本人の多くは今回あらためて気
付いたことだろう。韓国が、「あれは
ご破算だ」と他国との合意を平気で
破ろうとする国であることを。歴史
は繰り返されている。それにお人よ
しな日本人が気付かなかっただけだ。

今回、日本は歴史の事実として、
身勝手な「韓国の常識」を味わった。
気付かせたのは、当の韓国だ。
一方で、韓国にとっても日本が「甘

えの通じない国」であることを知って
もらういい機会でもある。もし、韓
国が約束をこのまま守らずに無視し
ても、日本はこれまでのように振り
回される必要はない。対抗措置を続
けるか、大使召還も視野に入れたさ
らなる追加的な措置をとればいい。

難航の末に日韓間で取り交わした
合意、ゴルフポストが、韓国側の一
方的な事情でまた動かされようとし
ている。今回こそ日本は、それを許
してはならない。

隣国による約束反故で、これまで
日本は何度、謝罪を繰り返し、その

身勝手さに付き合わされてきたこと
か。韓国に甘い顔は禁物なのだ。

日本は正念場に立っている。韓国
でいままさに起きていることを、外
交上の裏切り、国際ルール違反をし
つかりと記憶として頭に焼き付け、
対応していかねばならない。

間違いを繰り返さず、日本の未来
の世代に理不尽な禍根を残さないた
めにも。

なむらたかひろ

一九六一年、兵庫県生まれ。関西学院大学法学部卒。産
経新聞外信部などを経て、九六〜九七年、二〇〇一〜〇
三年にソウル支局特派員、一三〜一六年にソウル支局編
集委員として勤務。一六年からソウル支局長。

月刊 Hanada
セレクション

怒ち3刷!

絶望の韓国、 悲劇の朴槿恵

大統領

ISBN978-4-86410-538-5
ONZOE(税別)
A5判変型並製、200頁

「朴槿恵・崔順実
ゲート」の真相
韓国という国が
これ1冊で
すべてわかる

飛鳥新社

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-3
光文恒産ビル2F
TEL 03-3263-7770 / FAX 03-3239-7759